

輸 送 動 向 に つ い て (平 成 2 2 年 1 1 月 分)

平成22年12月

1. 輸送概況

今月は、上旬に羽越線での強風による輸送障害が発生し、高速貨2本が運休したものの、大きな輸送障害もなく、比較的安定した輸送状況で推移した。

荷動きについては、円高に伴う景気の減速はあったものの、家電エコポイント制度見直し直前の家電需要が盛り上がりを見せ、月全体を通して前年を上回った。

コンテナ貨物は、野菜類の生育不良に伴い農産品・青果物が前年を下回ったものの、紙・パルプ、家電・情報機器、自動車部品などが前年を上回り、全体では前年比104.8%となった。特に、家電・情報機器は家電エコポイント制度のエコポイント数及び対象商品の見直しを見越した販売増を受けて、大幅に増送となった。また、自動車部品は一部工場の生産台数の増加に伴い増送となった。

車扱貨物は、セメント・石灰石が前年を上回ったものの、石油などが前年を下回り、全体では前年比98.4%となった。セメント・石灰石は前月の生産調整に伴う反動により増送となった。また、その他の品目となる紙・パルプは一部顧客のコンテナ化により減送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,836	1,751	104.8%	14,047	13,447	104.5%
車 扱	957	973	98.4%	6,396	6,509	98.3%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	195	204	-9	95.6%
	化学工業品	175	165	10	106.1%
	化学薬品	136	134	2	101.5%
	食料工業品	272	269	3	101.1%
	紙・パルプ	267	249	18	107.2%
	他工業品	140	128	12	109.4%
	積合せ貨物	192	188	4	102.1%
	自動車部品	77	64	13	120.3%
	家電・情報機器	52	38	14	136.8%
	エコ関連物資	32	31	1	103.2%
	そ の 他	298	282	16	105.7%
コ ン テ ナ 計	1,836	1,751	85	104.8%	
車 扱	石 油	658	661	-3	99.5%
	セメント・石灰石	121	118	3	102.1%
	車 両	87	95	-8	90.8%
	そ の 他	92	99	-7	93.3%
	車 扱 計	957	973	-16	98.4%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)